

奈良国立文化財研究所要項

一、調査研究概況

A 総合研究

1 平城宮跡発掘調査

本年度は第25、32次の6回にわたって調査をおこなった。(本文31頁以下参照)

2 西大寺調査

前年度にひき続き従来の調査の成果を基礎に、敬尊研究との関連において、絵画部門では絵仏師の研究、彫刻部門では西大寺愛染明王像をめぐって善円の動向を検討、工芸部門では寂尊舍利塔の性格について研究をすすめた。なお、西大寺末寺帳にもとづいて、尾道浄土寺、周防国分寺、豊前大興善寺、肥前東妙寺、竜田寺、石塔院、志布志宝満寺など地方末寺を調査した。

B 各個研究

I 美術工芸研究室

1 美術工芸作品の伝統的系譜の研究

工芸作品の分野は多岐にわたるが、各分野にわたって伝統的系譜がたどれるものは、素材であり、技術であり意匠である。前年より引続き意匠の面においてこれを調査し資料をあつめている。

2 仏像納入文書の調査研究

本年度は岡山東寿院阿弥随如来像、広島耕三寺蔵阿弥随如来像、東京原家地藏菩薩像、奈良中宮寺文殊菩薩像、笠山竹林寺地藏菩薩像などについて調査を行い、また収集資料の整理と検討をした。(本文

12頁参照)

3 奈良様彫刻の研究

南都造像史研究の一環として奈良様彫刻の形成と伝流について調査研究するもので、本年度は主として藤原末鎌倉初頭の造像活動について検討するとともに、中世における南都の仏師、特に康慶、湛慶、康門等に関する資料蒐集を行った。

4 その他の調査

修験関係の造像をめぐって大和天室山寺ほか松尾寺、桜本坊のほか、鳥取三仏寺、伯耆大山寺、鰐淵寺等の諸像について調査した。

5 上代絵画の研究

ひきつゞき堂塔壁画の問題を中心に、技法と画師について文献資料の整備をすすめ、栄山寺八角堂・元興寺極楽坊などについて調査をおこなった。

6 南都仏教絵画の研究

中世南都絵仏師の動向を中心に、南都系仏画の諸相を研究するもので、四天王寺、根津美術館などの在銘作品について資料を整備し、興福寺以下諸寺の調査をおこなった。

II 歴史研究室

1 唐招提寺経典古文書調査

昭和35年度以降の調査の継続で、本年度は主として同寺森本長老が寄進された経典類を調査した。幾つかの優品が見られたが、その中の一点を選んで本文中に掲げた。(本文19頁参照)

2 西大寺経典古文書調査

昭和37年度以降の調査の継続で、本年度は主として西室蔵の聖教を調査したが、その中から若干の中文書も発見された。

III 建造物研究室

1 建造物調査

唐招提寺鼓樓・薬師寺東塔などの一部実測をとまう調査をおこなった。

2 奈良市内古民家等建築の調査

奈良市教育委員会の依頼により、市内古民家の補足調査、奈良少年刑務所(明治建築)等の調査をおこなった。

3 史跡公園の研究

史跡等の保存および公園化して活用することに関し、基礎面、応用面の両者の資料収集と、枚方市百濟寺公園その他につき、実地の公園化計画の指導をおこなった。

4 平城宮建物復元設計

平城宮朱雀門・内裏正殿・内裏掘立柱回廊等につき、資料収集・模型設計および製作指導にあたった。(本文23頁参照)

5 小堀遠州関係遺跡の調査

昭和37年度に行つた小堀遠州関係資料の収集によつて、遠州作事関係の指図の大半を閲読または複製することができた。そこで昭和40年度は指図に示された地形地物と遺跡とを照合することに努めた。その結果、小堀新助屋敷跡、伊庭御茶屋跡等を確認することができた。それら成果は学報第十八冊「小堀遠州の作事」に収めたので参照されたい。

IV 文部省科学研究費による研究

単人に関する基礎的研究

岩本 次郎

日記系譜の再検討から、天孫降臨神話の単人伝承と、大伴・尾張・猿女各氏の関係を考察し、また『延喜式』にいう五畿内並びに近江・丹波等の単人定着地を具体的に明らかにして、服属異族の被支配の実態を考究した。

古代における瓦陶兼業窯跡の研究

横山 浩一

古代における瓦工と陶工の関係を追求し、あわせて瓦と土器の編年の相互検証を行うため、瓦陶兼業窯跡についての資料の収集と、京都市幡枝瓦陶兼業窯跡出土品の整理を行った。

七・八世紀の鉄器の生産について

木村 豪章

日本における主要な砂鉄産地である中国山脈ぞいの地域における古代製鉄遺跡の分布調査をおこなった。とくに、三次盆地において遺跡周辺地域で母岩を採集し、現在分析中である。

銅鐸の研究

佐原 真

銅鐸の型式学的研究の基礎資料を収集した。研究成果の一部は『日本の考古学Ⅲ』弥生時代に発表された。

名物裂の研究

守田 公夫

名物裂の資料蒐集のため、前田育徳会、東京国立博物館、根津美術館、藤田美術館に蔵されている名物裂の一部を撮影した。名物裂と深い関係をもつ茶道関係の文献を筆写して資料の蒐集と調査にあたった。

近畿における近世社寺建築の様式的研究

鈴木 充

近世の寺院建築遺構を奈良市および京都市南部を中心に調査し、年代別の残存状況、遺構の特徴などについて、資料を集集した。また東京大学所蔵の平内文書など、匠家関係の資料を複写し、その内容について検討した。

C 調査指導

大阪府百濟寺跡の発掘調査 昭和40年5月8日

府教委主催。寺跡の公園化に必要な資料を得るため、工藤圭章、田中琢ほか所員多数の指導のもとに発掘を行い、昭和七年の調査結果を補足した。

兵庫伊丹廃寺跡の発掘調査 昭和40年8月

伊丹市教委主催。高井悌三郎氏担当。沢村仁、牛川喜幸が測量について指導した。

大阪市難波宮跡の発掘調査 昭和40年9月10日

難波宮址顕彰会主催。大阪府第二整枝学園建設地の緊急調査。沢村仁等が指導し、天武朝以前の朝堂院遺跡と聖武朝西第一堂を発見した。

長野県大村廃寺の調査 昭和40年12月

県教委主催。新産業都市建設にもなる分布調査の一環として行われた試掘を横田義章が指導し、礎石の存在を確認した。

鳥取県大寺廃寺の発掘調査 昭和41年2月3日

県教委主催。浅野清氏担当。道路拡幅にもなる緊急調査。鈴木充等が指導し、塔とその南方に当る堂跡を検出した。

京都市鳥羽離宮跡の発掘調査 昭和41年2月

府教委主催。昭和38年度以来の継続調査で杉山信三が指導し、今年度は小寝殿が出た。

兵庫県田能弥生式遺跡の発掘調査

昭和41年2月以降

尼崎市主催。村川行弘氏担当。横山浩一、田中

琢、佐原真ほか平城宮跡発掘調査部員多数が出張し、地元の研究者によつてすでに発掘されていた第四区の住居跡、埋葬の実測と、あらたに設定した第五区に分層的な発掘調査を指導援助した。

D 研究発表

1 昭和40年5月22日(於本所) 守田公夫

名物裂とその背景について 横山浩一

大化薄葬制についての一考察 工藤圭章

奈良市街の変遷について 横田拓実

2 昭和40年11月6日(於平城宮発掘調査事務所) 横田拓実

平城宮出土の木簡について 工葉善通

平城宮跡第22・26・27次発掘調査について 佐原 真

3 昭和41年3月1日(於平城宮発掘調査事務所) 河原純之

平城宮跡第32次発掘調査について

E 昭和40年度文部省科学研究費交付金による研究

研究課題	種類	研究者	交付金
単人に関する基礎的研究	各個研究	岩本次郎	63,000円
古代における瓦陶兼業窯跡の研究	"	横山浩一	81,000円
七・八世紀の鉄器の生産について	"	木村豪章	45,000円
銅鐸の研究	"	佐原 真	45,000円
名物裂の研究	"	守田公夫	99,000円
近畿における近世社寺建築の様式的研究	"	鈴木 充	81,000円

二、組 織

A 文化財保護法 抜萃(昭和二十五年五月二十日) 法律第二四号

三、研究成果刊行物
奈良国立文化財研究所学報

第二十条 委員会の附属機関として文化財専門審議会、国立博物館、及び国立文化財研究所を置く。
第二十三条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表を行なう。
2 国立文化財研究所の名称及び位置は左の通りとする。

名	称	位置
東京国立文化財研究所		東京都
奈良国立文化財研究所		奈良市

3 奈良国立文化財研究所には支所を置くことができる。
4 国立文化財研究所及びその支所の内部組織は、委員会規則で定める。
B 奈良国立文化財研究所組織規程
(昭和二十七年三月二十五日)
(文化財保護委員会規則第五号)

沿革

- 昭和二十九年六月二十九日文化財保護委員会規則第一号改正
- 昭和二十九年九月一日 第一号改正
- 昭和二十九年九月一日 第三号改正
- 昭和二十九年四月一日 第四号改正
- 昭和二十九年三月二日 第一号改正
- 昭和四十一年三月二日 第二号改正

第一条 奈良国立文化財研究所の組織
(奈良国立文化財研究所の所掌事務を分掌させるため、庶務課、次の三室及び平城宮跡発掘調査部を置く。
美術工芸研究室
建造物研究室
歴史研究室

2 平城宮跡発掘調査部に、その所掌事務を分掌させるため、次の六室を置く。
第一調査室 第二調査室
第三調査室 第四調査室
保存整理室 史料調査室
(庶務課の所掌事務)
第二条 庶務課においては次の事務をつかさどる。
一 別に文化財保護委員会から委任を受けた範囲

奈良国立文化財研究所要項

年度	名	称	担当者
昭和29年度	第一冊	仏師運慶の研究	小林 剛
昭和30年度	第二冊	修学院離宮の復原的研究	森 蘊
昭和31年度	第三冊	文化史論叢	小林剛・森蘊・杉山信三・田中一郎・田中稔
昭和32年度	第四冊	奈良時代僧房の研究	浅野清・鈴木嘉吉
昭和33年度	第五冊	飛鳥寺発掘調査報告	浅野清・杉山信三・坪井清足・鈴木嘉吉
	第六冊	中世庭園文化史	森 蘊
昭和34年度	第七冊	興福寺食堂発掘調査報告	坪井清足・鈴木嘉吉
	第八冊	文化史論叢	小林 剛
昭和35年度	第九冊	川原寺発掘調査報告	小林 剛・守田公夫・浜田 隆・杉山二郎
昭和36年度	第十冊	平城宮跡I・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告	杉山・坪井・鈴木・田中(稔)・工藤・田中(琢)
昭和37年度	第十一冊	院家建築の研究	杉山・坪井・鈴木・工藤・田中(琢)・岡田・岩本
	第十二冊	巧匠阿弥陀仏快慶	小林 剛
	第十三冊	寝殿造系庭園の立地的考察	森 蘊
	第十四冊	「レース」と「金亀舍利塔」に関する研究	守田公夫
	第十五冊	平城宮発掘調査報告II	坪井・鈴木(喜)・田中(稔)・工藤・田中(琢)
	第十六冊	平城宮発掘調査報告III —官衙地域の調査—	岡田・狩野・河原
昭和38年度	第十七冊	平城宮発掘調査報告IV —内裏地域の調査—	榎本・坪井・田中(稔)・工藤・沢村・田中(琢)
昭和40年度	第十八冊	小堀遠州の作事 —官衙地域の調査2—	岡田・狩野・河原

年度	名	称	担当者
昭和29年度	第一冊	南無阿弥陀仏作善集複製	田沢 担
昭和30年度	第二冊	西大寺御尊伝記集成	小林 剛
昭和38年度	第三冊	仁和寺史料 寺誌編一	田中 稔・狩野 久
昭和39年度	第四冊	俊乘房重源史料集成	小林 剛

奈良国立文化財研究所年報

- 一、における職員の仕事に関する事。
 - 二、公文書の受取及び公印の管守その他庶務に関する事。
 - 三、経費及び収入の予算、決算その他会計に関する事。
 - 四、行政財産及び物品の管理に関する事。
 - 五、職員福利厚生に関する事。
 - 六、前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。
- (美術工芸研究室の所掌事務)
- 第三条 美術工芸研究室においては、絵画彫刻、工芸品、書跡その他建造物以外の有形文化財及び工芸技術に関する調査研究並びにその結果の普及及び活用に関する事務をつかさどる。
- (建造物研究室の所掌事務)
- 第四条 建造物研究室においては、建造物に関する調査研究並びにその結果の普及及び活用に関する事務をつかさどる。
- (歴史研究室の所掌事務)
- 第五条 歴史研究室においては、考古及び史跡に関する調査研究並びにその結果の普及及び活用に関する事務をつかさどる。
- (平城宮跡発掘調査部の六室の所掌事務)
- 第六条 第一調査室、第二調査室、第三調査室及び第六調査室においては、所長の定めるところにより分担任して、平城宮跡の発掘及び調査研究並びにその結果の普及及び活用に関する事務をつかさどる。

所屬	氏名	官	職	担当
庶務課	小林 剛	文部技官	所長	
	新山 忠弘	文部事務官	課長	
	国井 和朗	同	課長補佐	
	西村 縣治	同	専門員	平城事務
	国井 和朗	同	庶務係長(併)	庶務
	坂口 義尚	同	会計係長	會計
	八幡 扶桑	文部技官	(併)	写真
	岩本 次郎	文部事務官		圖書資料
	井上 政和	同		庶務
	加藤 建夫	同		會計
	丹阪 信次	同		庶務
	木寅 忠雄	警務員		警務員長
	森田 光治	同		同
	岡田 博光	同		同
	西田 健三	技能員		警備
	中西 建夫	同		自動車運転
	渡辺 衆芳	技術補佐員(非常勤)		同
	久保 正美	事務補佐員(非常勤)		写真
	大西朝次郎	同		會計
	米山ゆう子	同		同
	鈴木 康子	同		庶務
	高木 紘子	同		圖書資料
	松本三三子	同		庶務

四、職員 (昭和41年11月現在)

所屬	氏名	官	職	担当
庶務課	松尾 妙子	技術補佐員(非常勤)		資料整理
	梶 幸治郎	同		平城保安
	植栗千恵子	事務補佐員(非常勤)		平城事務
	上滝 祥子	同		同
	城本きよの	同		同
美術工芸研究室	守田 公夫	文部技官		工芸
	平田 寛	同		絵画
	長谷川 誠	同		彫刻
	石沢 正男	研究員(非常勤)		美術・工芸
建造物研究室	森 蘊	文部技官		遺跡庭園
	工藤 圭章	同		建築
	沢村 仁	同		同
	牛川 喜幸	同		遺跡庭園
	宮沢 智士	同		建築
	田中 稔	同		歴史
	田中 琢	同		考古
	岡田 茂弘	同		同
	狩野 久	同		歴史
	本村 豪章	同		考古
	河原 純之	同		同
	八賀 晋	同		同
	新田 義田	研究員(非常勤)		仏教史
	杉山 信三	文部技官		建築
	森 蘊	同		遺跡庭園

この規則は、昭和四十年四月一から施行する。

調査室四	調査室三								調査室二					調査室一	所屬									
杉山 信三 同	伊東 太作 同	藤原 武一 同	玉井 力 同	松下 正司 同	佐原 真 同	河原 純之 同	沢村 仁 同	村上 認一 同	横田 義章 同	石井 則孝 同	三輪 嘉八 同	本村 豪章 同	牛川 喜幸 同	工藤 圭章 同	阿部 義平 同	高島 忠平 同	小笠原好彦 同	猪熊 兼勝 同	宮沢 智士 同	藤井 功 同	岡田 茂弘 同	横山 浩一 同	守田 公夫 同	氏名
室長(併)			室長								室長					室長(併)		官	職					
同	建 築	遺跡庭園	同	同	同	考 古	同	建 築	同	同	同	考 古	遺跡庭園	建 築	同	同	同	考 古	建 築	同	同	考 古	工 芸	担当

調査室料	史					整理室存										所屬								
平野 尊子	加藤 優 同	真鍋 俊照 同	鬼頭 清明 同	横田 拓実 同	狩野 久 同	田中 稔 同	佃 幹雄 同	八幡 扶桑 同	山沢 義貴 同	佐藤 興治 同	町田 章 同	田中 琢 同	坪井 清足 同	栗原 和彦 同	細見 啓三 同	西谷 正 同	森 郁夫 同	工梁 普通 同	八賀 晋 同	氏名				
技術補佐員(非常勤)		室長(併)					室長											官	職					
平城資料	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	考 古	担当